

平成25年度

圏域別公聴会の概要（隠岐圏域）

< 開催日時等 >

平成25年7月9日（火）14:30～17:00 隠岐島文化会館

健康福祉部

平成25年度圏域別地域公聴会の概要 [隠岐圏域]

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問の概要	公聴会時の回答の概要	公聴会後の対応状況等	担当課	意見者	開催日
1	07隠岐	04_高齢者施策	04_生きがい施策	高齢者の社会参加推進	高齢者で元気な方が、福祉に限らず、いろいろな分野で社会参加する施策を、県をあげて取り組んで欲しい。	65歳以上の8割の方が元気な高齢者で、地域での老人クラブという形のほか、様々な団体として活躍いただいているところ。 これからは、地域の暮らしを支えるために介護の専門事業者だけでなく、身近な住民の方々や地域の団体が連携しながら支えていくことが必要と認識。地域包括ケアの仕組みのなかで、こうした取り組みがひとつの形となるよう支援したい。 また、地域での声がけや支え合いといった老人クラブの友愛活動のスーパーバイザー養成を支援し、広がりが出てくることに期待。 高齢者大学校くにびき学園を受講された方のネットワークも活用しながら、お知恵をいただき今後どんな支援ができるか一緒に考えたい。	引き続き、県及び市町村老人クラブ連合会の活動や、高齢者大学校による人材育成等、高齢者の活動を応援していく。 特に、島根県老人クラブ連合会では、住み慣れた地域で、高齢者同士が支え合い、安心して暮らすために、地域の高齢者が抱える生活課題を把握し、他団体と連携・協働しながら友愛活動を推進していく「地域支え合い事業」に平成25年度から取り組み、スーパーバイザー等のリーダー養成が進められているところ。県としてはこの事業を引き続き支援していく。 また、高齢者大学校「くにびき学園」では、地域活動の担い手育成をより推進するため、運営主体の県社会福祉協議会において、カリキュラム改編検討委員会で検討し、平成26年度からカリキュラムを大幅に改編予定である。さらに、卒業生のネットワーク組織が平成25年10月に発足し、卒業生グループの情報交換や連携により、地域活動の推進を図っているところ。県としては、引き続き、地域活動の発展に寄与する人材育成の場となるよう県社協と連携して取り組む。	高齢者福祉課	西の島老人クラブ連合会	7月9日
2	07隠岐	08_その他(共通)	03_その他	看護師、介護士確保対策	離島のせいもあるかもしれないが、介護士や看護師が確保しにくい状況にあり、介護士・看護師を県で採用し、町村単位に派遣する方策はとれないか。	看護師確保では、県で採用という方向では検討してなく、県は看護協会とタイアップし県内で定着してもらおうという全体的な確保は進めているが、地域での確保は、それぞれの地域の実情踏まえ地域で確保いただいている。 介護士についても、県で採用という仕組みは難しいが、社会福祉法人や民間の採用でのお試し雇用であるとか、資格を取りながら働けるような支援をしており、これからも続けていきたい。 ただ、人材確保で隠岐地域が厳しい状況におかれていることは認識しており、県として人材を確保して派遣するということは直ちには難しいが、無理だと突き放すのではなく、しっかりと課題としてとらえたい。	<p>[看護職員確保]</p> 島根県では、都市部においても看護職員が充足しているとはいえない状況であり、直ちに看護師等の派遣制度を設けるのは困難な状況であるが、他県の例も参考にしながら、県として何ができるか検討したい。	医療政策課 高齢者福祉課	知夫村	7月9日